

熊本地震 震度7 ~4月14日(木)午後9時26分頃、熊本地方に地震~

熊本県の益城町で震度7、熊本市や玉名市などで震度6弱を観測した。揺れの強さは「阪神」上回る！

~夜の地震、安全に避難するには日頃からの備えが重要です~



- ◇寝室の家具は、倒れても安全な場所に置きましょう。さらに、壁などに固定しましょう。
- ◇窓ガラスは、飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ◇ドアやベランダなどの避難経路を確認しておきましょう。
- ◇懐中電灯、ラジオ、救助を呼ぶために使う笛などが枕もとにあると安心。
- ◇家族の集合場所を決めておきましょう。
- ◇ふだんから隣近所を大切にしましょう。

~近所のかたが守ってくれます~

平成28年度総会開催 ~みんなで防災訓練を体験しましょう~

平成28年度彦川戸町会自主防災会総会は、5月8日(日)に関係者45名が出席して開催しました。

来賓の小山町会長、佐藤市議会議員からは、日々の訓練が私達の命を守るという心強いご祝辞を頂きました。

本年度総会では、平成27年度事業報告並びに決算報告が承認され、また平成28年度事業計画(案)並びに事業予算(案)が承認されましたのでご報告申し上げます。

総会終了後の全体会議では、役員及び班員の紹介と本年度事業の内容についてご説明申しあげました。

家族を守るには、日頃の防災訓練が欠かせません。本年も町会の防災訓練などにご協力お願いします。

彦川戸町会自主防災会会長 大津精一郎

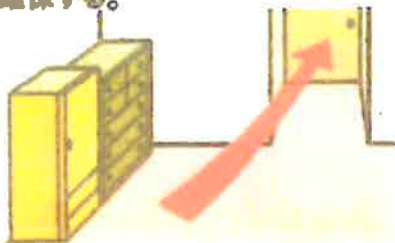
《 本年度事業 》

- 毎月第1日曜日は、防災機材の保守点検日です。
- 地域の防災意識の啓発として体験研修会を開催します。
*6/12(日)千葉県西部防災センター視察/体験研修会を開催。
- 彦川戸町会防災訓練は、9月4日(日)に開催します。
- 町会で防災講話を開催し防災啓発に努めます。

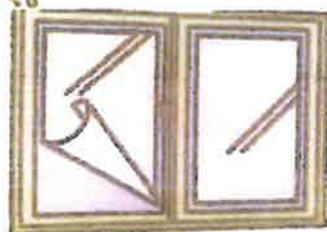
寝室には背の高い家具を置かない。



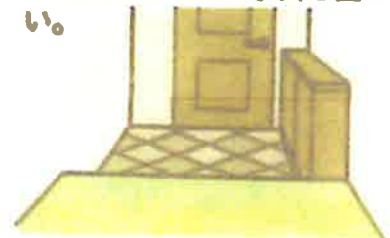
家具の配置を工夫して、家の中に逃げ場としての安全な空間を確保する。



窓や戸棚などのガラスには、飛散防止フィルムを両面にはっておく。



安全に避難できるように、通路や出入り口には、家具を置かない。



防災の体験研修や防災訓練で学ぶ日頃の備え

彦川戸自主防災会会長 大津精一郎

毎年、9月開催の町会防災訓練前に、町会の皆様を対象にした体験研修会を6月に開催しています。

イザという時に自分の命や家族を守る、隣近所さんの命を守るができるように学んでいます。

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本大震災等でもうおわかりでしょうか、「私の命は隣近所の方に助けて頂きました。」という方が大半です。今後、首都直下型地震が予想されています。

日頃からの防災の備えを真剣に考えてください。①まずは自らの備えを大切にしてください。
②隣近所さんを大切にしてください。あなたを守ってくれる方です。



6月12日(日)視察地:防災体験学習施設千葉県西部防災センター (参加者41名)
所在地 千葉県松戸市松戸558-3

- ◇風雨の威力を体験
- ◇災害時の応急処置……AEDの体験
- ◇避難と安全……煙体験と避難方法
- ◇自然災害の恐ろしさ……記録映像
- ◇地震の科学……メカニズム地震と行動
- ◇通報と消防…119番通報の仕組みと体験
- ◇火災と消火の科学……消火方法を体験
- ◇総合テーマ室
都市型火災をシミュレーション、模擬体験する



防災だより

第133号

発行日 平成28年7月15日(金)

発行 彦川戸町会自主防災会

“防災訓練”継続は力なり！

彦川戸自主防災会会長 大津精一郎

彦川戸町会自主防災会は、毎年、9月に町会の防災訓練を開催しています。

自分の命や家族を守る、隣近所さんの命を守るができるように訓練を重ねています。

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本大震災等でもうおわかりでしょうか、「私の命は隣近所の方に助けて頂きました。」という方が大半です。

日頃の防災知識や防災訓練を通じた貴重な体験が必ず役に立ちます。

「イザという時に何もできなかった。」では、身を守れません。家族を守れません。

東日本大震災では、仙台市宮城野区福住町のように、自主防災組織が機能した事例がある。

高齢者らの安否確認に駆け回り、約30分で全住民の無事を確認。

地区集会場に避難所を開設し、別の避難所にも炊き出しのおにぎりを届けた。

通常の防災訓練通りの行動だった。

* 読売新聞2016.7/7(木)「焦点」記事より



県内では地域の人々が「自主防災組織」として自発的に防災活動を行っています。

阪神・淡路大震災では倒壊した家屋から救出された人の約8割が近所の人に救出されたというデータがあります。

地域での助け合い、住民同士が力を合わせ初期消火や人命救助を行うことが大切です。

大災害で多くの人が救助を必要とする事態になると、消防などによる救助活動にも限界があります。そこで重要になるのが地域での助け合い、住民同士が力を合わせ初期消火や人命救助を行うことが大切です。

自治会などを中心に組織され、県内では約5200団体がある。災害時に初期消火や人命救助を行います。平常時は防災活動の計画を作成し、高齢者などの要配慮者世帯の把握や、防災資機材の整備をしています。また、地域住民と防災訓練や防災意識の啓発活動なども行っています。

地域で「自主防災組織」



県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

県では、自主防災組織がさらに充実した活動を行えるようにリーダー養成講座の開催や、資機材整備費補助などの支援を行っています。

◇第2回全体会議開催のお知らせ(最終打合わせ会)

- 日時 8月7日(日) 午前9時から11時30分
- 場所 彦川戸公民館
- 対象 彦川戸自主防災会役員及び正副班長及び班員
- 内容 9月4日(日)町会防災訓練の打合わせ、役割分担について

防災だより

第134号

発行日 平成28年8月15日(月)

発行 彦川戸町会自主防災会

防災訓練に参加・体験しよう

防災訓練実施します

期日 平成28年9月4日(日)

場所 彦川戸公民館

時間 8:30~12:30

災害は、他人事ではありません！

あなたも訓練を体験して
どう備えたらよいかを知ろう！

避難人員を把握し、実際に要

避難者も搬送する。



① 広報並びに情報伝達訓練

消防団広報訓練、情報収集・伝達訓練
本部からの指示を受けて、情報班とともにメガホンなどを使って避難の指示と地区ごとの一次避難場所を伝えてまわる。



② 避難訓練

「三郷工業技術高校」まで避難訓練



③ 炊き出し訓練

おむすび、スープ等の炊き出し訓練



④ 初期消火訓練

消火器、天ぷら火災、バケツ消火等の訓練



⑤ 救出訓練

倒壊家具の撤去及び救出訓練



⑥ 救護訓練

三角巾、担架等を使用した救護訓練



⑦ 救援物資の受け取り及び管理・配布訓練

◇問い合わせ 一般参加される方は、8月27日(土)までに必ずご連絡ください。

彦川戸町会自主防災会長 大津まで ☎ 952-5024

防災だより

第135号

発行日 平成28年9月15日(木)

発行 彦川戸町会自主防災会

日頃の訓練が自分や家族、地域の命を助ける！

9月4日(日)首都直下型地震を想定した彦川戸町会防災訓練は、総勢139人が参加して実施した。

訓練当日は、台風12号の影響も心配しましたが、無事に午前8時30分から開催することができました。

来賓の小山町会長、木津市長、佐藤市議からは、日頃の防災訓練が『自分の命は自分で守る』、『自分たちの街は自分たちで守る』、イザという時は、近所の方々と連携して助け合うことが重要ですとご挨拶ありました。

また、近隣自主防災会の県営三郷彦成団地自治会の佐野代表と他3名の方々が視察見学してくれました。

町会の皆様、今後も皆さんが助け合って毎年1回防災訓練を開催して参りましょう。御苦労さまでした。

～防災知識、防災体験、防災訓練があなたを守ります～



開会式～総勢139人参加～



会場設営訓練(テント4基設営)



資機材設営訓練(井戸給水・トイレ設置)



炊き出し訓練(おにぎり)



避難誘導訓練(三郷工業技術高校まで避難)



初期消火訓練(バケツ消火訓練)